

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【公開番号】特開2000-230978(P2000-230978A)

【公開日】平成12年8月22日(2000.8.22)

【出願番号】特願平11-318426

【国際特許分類】

**G 01 S 13/75 (2006.01)**

**G 01 S 13/76 (2006.01)**

**G 01 S 13/79 (2006.01)**

**H 04 B 1/59 (2006.01)**

【F I】

**G 01 S 13/80**

**H 04 B 1/59**

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月7日(2006.11.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 一台の質問機と複数のトランスポンダとを備える電子身元確認システムであって、

前記質問機は、

前記トランスポンダに質問信号を送信するための送信手段を備え、

各トランスポンダは、

前記トランスポンダの特性を含む一意の署名を発生するための署名発生手段と、

前記質問信号に応えて、前記署名を含む応答信号を間欠的に送信するための送信手段とを備え、

前記質問機が、さらに、前記トランスポンダの中の一台から応答信号を受信した場合に、前記質問機の送信手段により送信される受信通知信号であって、一台のトランスポンダの前記一意の署名を含む受信通知信号を発生するための受信通知信号発生手段を備える電子身元確認システム。

【請求項2】 請求項1に記載のシステムにおいて、前記トランスポンダの送信手段が前記応答信号で前記質問信号を後方散乱変調するための変調手段を備えるシステム。

【請求項3】 請求項1または請求項2に記載のシステムにおいて、各トランスポンダが、前記間欠的な各応答信号の送信直後に、タイム・ウインドウを発生するためのタイム・ウインドウ発生手段と、前記タイム・ウインドウ中に、前記各署名を含む受信通知信号を受信した場合に、トランスポンダを通常のモードから他のモードに切り換えるためのコントローラとを備えるシステム。

【請求項4】 請求項3に記載のシステムにおいて、前記署名発生手段が、乱数発生器を備えるシステム。

【請求項5】 請求項4に記載のシステムにおいて、前記質問信号の最初の受信の後であって、前記応答信号の中の最初が応答信号が送信される前に、遅延時間またはホールドオフ時間を決定するために動作することができるシステム。

【請求項6】 請求項4または請求項5に記載のシステムにおいて、前記乱数発生器が、前記間欠的な応答信号に対するランダムな反復周期を決定するために動作することが

できるシステム。

【請求項 7】 請求項 4 - 請求項 6 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、前記乱数発生器が、前記トランスポンダに対してランダムに選択したクロック周波数を発生するために、前記トランスポンダのプログラム可能なクロック周波数ディバイダに対する除数を時々発生するために動作するシステム。

【請求項 8】 前記請求項の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、前記受信通知信号が、前記トランスポンダを通常の動作モードから他の複数のモードの中の選択した一つのモードに切り換えるためのコマンドを含むシステム。

【請求項 9】 複数のトランスポンダを備える電子身元確認システムと一緒に使用するための質問機であって、

複数のトランスポンダへ質問信号を送信するための送信手段と、

そこからの各トランスポンダの特性を含む署名を含む応答信号であって、複数のトランスポンダからの応答信号を受信するための受信手段と、

受信した前記応答信号の中の少なくとも一つを処理し、また署名を含む受信通知信号を送信させるためのコントローラとを備える質問機。

【請求項 10】 質問信号を受信するための受信手段と、

前記トランスポンダの特性を含む署名を発生するための署名発生手段と、

前記質問信号に応えて、前記トランスポンダの特性を持つ前記署名を含む応答信号を送信するための送信手段と、

署名を含む受信通知信号を受信した場合に、トランスポンダを、ある動作モードから他の動作モードに切り換えることができるコントローラとを備えるトランスポンダ。

【請求項 11】 請求項 10 に記載のトランスポンダにおいて、前記署名発生手段が、乱数発生器を備え、前記署名が一つの数字であるトランスポンダ。

【請求項 12】 請求項 10 または請求項 11 に記載のトランスポンダにおいて、前記トランスポンダが、前記応答信号の送信直後にタイム・ウィンドウを発生するためのタイム・ウィンドウ発生手段を備え、前記タイム・ウィンドウにおいて、前記トランスポンダが、前記受信通知信号を感知でき、応答することができるトランスポンダ。

【請求項 13】 請求項 11 および請求項 12 に記載のトランスポンダにおいて、前記数字発生器が、前記質問信号の最初の受信後であって、前記応答信号が送信される前に、ランダムな遅延時間またはホールドオフ時間を決定するために動作するトランスポンダ。

【請求項 14】 請求項 11 - 請求項 13 の何れか 1 項に記載のトランスポンダにおいて、前記乱数発生器が、前記応答信号のランダムな反復周期を決定するために動作するトランスポンダ。

【請求項 15】 請求項 11 - 請求項 14 の何れか 1 項に記載のトランスポンダにおいて、前記乱数発生器が、前記トランスポンダに対して、ランダムに選択したクロック周波数を時々発生するために、前記トランスポンダのクロック周波数を決定するために動作するトランスポンダ。

【請求項 16】 請求項 15 に記載のトランスポンダにおいて、前記乱数発生器が、前記トランスポンダのプログラム可能なクロック周波数ディバイダに対する除数を発生するために、時々動作するトランスポンダ。

【請求項 17】 一台の質問機と、複数のトランスポンダを備える電子身元確認システムの動作方法であって、

前記質問機から前記トランスポンダに質問信号を送信するステップと、

前記トランスポンダに前記質問信号を受信させ、各トランスポンダに、トランスポンダの特性を含む各応答信号で、間欠的に応答させるステップと、

前記質問機に、前記応答信号を受信させ、トランスポンダの中の少なくとも一つからの応答信号を処理させるステップと、

前記質問機に、前記トランスポンダの中の少なくとも一台の署名を含む受信通知信号を送信させるステップと、

受前記信通知信号を受信した場合、前記トランスポンダの中の少なくとも一台に、ある動作モードから他の動作モードに切り替えさせるステップとを含む方法。